



松川に灯籠を流す参加者(富山市本丸)



灯籠流し鎮魂の祈り
8/1日 県平和運動センター
県立平和運動センター(山崎彰議長)は31日、県民会館で「8・1不戦の誓い集会」を開いた。参加者が松川に灯籠を流し、富山大空襲の犠牲者

に鎮魂の祈りをささげた。主催者を代表し、藤井宗一顧問が「富山大空襲の悲惨さを若い人たちに語り継ぐことがわれわれの責務だ」とあいさつし、名護市辺野古の米軍新基地建设に反対するドキュメンタリーDVD「速報 辺野古のたたかい」を上映した。上映後、参加者が松川に平和を願うメッセージを書いた灯籠約100個を流し、平和を願い静かに手を合わせた。



灯籠を浮かべ富山大空襲の犠牲者の霊を慰める参加者(31日夜、富山市の松川公園で)

約三千人が犠牲となった一九四五(昭和二十)年八月一日の富山大空襲から七十年を迎えるのを前に、「8・1不戦の誓い集会」が三十一日、富山市新総曲輪の県

富山大空襲70年 灯籠流し慰霊

4(水) 反核・平和の火の集り
12:40 県庁公園前集会

7(金) 8の日行動
JR富山 山津岡
あいの風 高岡

10(月) 緊急内原再核廃絶
川内 阻止 集会とデモ
CIC前 PM6:15

集会は「語り継ぐ! 富山大空襲『私たちは戦争の惨禍を繰り返しません』」をテーマに、富山県平和運動センターが二〇〇五年から毎年開催。この日の集会では、センターの藤井宗一顧問(母親から「大空襲時、富山の空が赤かった」と聞いた。(第二次世界大戦の)悲惨さを伝えていくのが私たちの責務だ」と力を込めてあいさつした。灯籠流しでは、参加者が「すべての人々と連帯し世界の恒久平和を実現しよう!」と書かれた手作りの灯籠五十個を水面に浮かべて合掌した。(青木孝行)

■新会長に岡崎県議 原水爆禁止県民会議は31日、県民会館で総会を開き、新会長に岡崎信也県議を選んだ。任期は2年。核兵器廃絶・脱原発に向けて運動を進めるとしたアピールを採択した。8/1日